

街なか魅力いっぱい米沢市

米沢市は山形県の南部に位置し、最上川の源流から流れる松川が市内を流れる面積五四八平方キロ、人口約九万人の街ですが、実は、山形、新潟、福島、仙台の各県の県庁所在地へいずれも二時間以内で行ける東北地方のへそとなる街です。

長井氏、伊達氏、蒲生氏の時代を経て、上杉謙信の養子上杉景勝が会津に移封された時に米沢は直江兼統の支配地となり、その後上杉景勝が米沢へ移封され初代米沢藩主となり、以後明治時代まで上杉氏の時代が続きます。九代藩主上杉鷹山が藩政改革を行います。その精神が今に至るまで根付いています。上杉氏の移封に伴って商人や職人も移り住み、商人町や職人町を形成し経済活動を支え、今日の市内各地の商店街の基礎が形作られました。それらの商店街を歩きながら街の魅力を紹介していくことにしましょう。

街なか魅力いっぱい米沢市……………3

米沢市市街地図……………4

駅前通り界限……………6

平和通り・中央通り界限……………16

立町通り・桐町通り界限……………26

松が岬・大町通り界限……………36





循環路線バス(左回り)      循環路線バス(右回り)

街なかさんぼには米沢市民バスの市内循環バス「ヨネザアド号」で出かけましょう。運賃 200円

携帯電話からもアクセスできます。  
**米沢市民バスナビ**で検索して下さい。  
 ホームページ [www.busnavi.net/yonezawa/](http://www.busnavi.net/yonezawa/)



まえがき

「米沢街なかさんぼ」は、山形県中心市街地まちづくり活性化支援事業、米沢市中心市街地まちづくり活性化支援事業として、制作されました。

二〇〇九年は、NHK大河ドラマ「天地人」で、上杉の智将直江兼統が取り上げられ、好評のうちに終了しました。大河ドラマの影響はすさまじく、米沢は全国的に知られたり、「天地人博」には、五十万人を越える観光客が訪れています。

街の活性化には、市街地や商店街の賑わいが欠かせません。本誌は、街の魅力を掘り起しながら、市民が誇れる街、観光客が楽しめる街づくりを目指していくツールとして活用されることを願って制作されました。

市内の主な商店街を「駅前通り界限」「平和通り・中央通り界限」「立町通り・桐町通り界限」「松が岬・大町通り界限」の四つのエリアに分けて、商店街の成り立ちから今の様子、あまり知られていない情報などを紹介しながら、周辺のお勧めの店舗を紹介しています。また、景観賞や登録文化財に指定された建物、市街地から見られる美しい風景など、多面的な情報も紹介しています。

「伊達のふるさと、上杉の城下町 米沢」を歩きながら歴史と文化、街の賑わいに触れていただければ幸いです。